

第14回 医療安全監査委員会議事録

日 時：令和6年3月13日（水）

出席者：【監査委員会委員】

藤本良知委員長（議長）、森田眞照委員、永井仁美委員、
吉野敬昌委員、谷川昇委員、薦幸治委員

【病院側出席者】

松田公志病院長、長沼誠医療安全管理責任者、
宮崎浩彰医療安全管理部長、徳永あゆみ医療安全管理部副部長、
藤原宏司事務部長

【事務局】秘書室 齋藤、森田

議 事：

1. 業務状況報告

宮崎医療安全管理部長から、資料に沿って次の4つの業務報告が行われた。

- ① 医療安全管理部業務状況報告
- ② 医療安全管理対策委員会業務状況報告
- ③ 医薬品安全管理責任者業務状況報告
- ④ 医療機器安全管理責任者業務状況報告

2. 講評（監査結果）

主な意見は以下のとおりであった。

・インシデントレポート関連報告

（意見）松田病院長から、分娩件数が急増しているが、病床の増床と看護師の増員により産科救急を応需できる体制を強化している。困難な症例は北河内医療圏に他に受け入れが可能な医療機関はなく、スタッフの使命感も強い。

・術前中止薬の中止・再開のタイミングは、施設により異なることがある。一致した基準はあるのか

（回答）添付文書と学会のガイドラインが基準となる。

・国際医療支援室について

①インバウンドの患者や外国人の自由診療の対応をする部署なのか

（回答）JMIP 受審に際し外国人患者受診の支援をする部署が必要であり設置した。インバウンドの患者の受け入れ調整や外国人患者とのトラブル対応を行っている。

②附属病院に通訳はいるのか

（回答）専門の通訳はいない。行政の医療通訳や電話翻訳ソフトを利用している。

次回開催日について

令和6年9月11日（水）14：30 から

以 上